

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 百のはびねす宮崎

公表日 令和8年 2月 2日

利用児童数 21

回収数 20

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | |
|--|---|---|---------------|-----|-------|---|---|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 14 | 6 | | | ○曜日によりますが、利用されるお子さんが多い日は本人から「狭かった」と感想がありました。 ○子供の人数によっては、お膳置が狭いかなと感じることがあります。 | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 17 | 1 | | 2 | | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく最適化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 18 | | | 2 | | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。 | 18 | 2 | | | | | |
| 適切 な支 援の 提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 17 | 3 | | | ○年齢差がある分、集団での課題がどうしてもの子に合わせざるを得ないものも分かんませんが、本人は飽きてしまったり「行きたくない」となっているため、年齢に合わせて月でも良いので内容を本人たちに合わせて欲しい ○以前、専門的支援計画内容を変更したことがありますが、子供の担当の方と担当者会議に参加される方を同じ方というのは難しいでしょうか？ ○言葉の遅れがある為、個別指導を取り入れて頂いた。 | ○職員間で話し合い、学年が上の児童も楽しめるように工夫していきます。 ○できる限り一緒に参加いたします。 | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 19 | 1 | | | | | |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 18 | 2 | | | ○LINEや面談等でもしっかりと現状や課題を共有して聞いていると思います。 ○こちらからどうやってほしいなど、目標を提示した際に、どのようにしたら達成できるのかを分析して計画を作成していただいた。 | | |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 17 | 1 | | 2 | | | |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 17 | 2 | | 1 | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 17 | 1 | | 2 | | | |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 14 | 2 | | 4 | | | |
| | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 18 | 1 | 1 | | ○「HUG」のアプリについて、利用して3か月後に知りました。 ○入所前、入所後も定期的に説明をしていただいております。 | 契約時にお知らせするように工夫します。 | |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 20 | | | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 14 | 2 | | 4 | | | |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 18 | 2 | | | ○毎回事業所利用日は、その日の出来事を教えていただき、状況把握できています。 | | |
| 保護者 への 説明 等 | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 16 | 1 | | 3 | | | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 19 | 1 | | | | | |
| | 18 父母の会の活動や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。 | 6 | 2 | 1 | 11 | まだ参加したことがない為、機軸があれば参加してみたいです。 ○父母の会等があるのわからない | | |
| | 19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 17 | 1 | | 3 | | | |
| | 20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 19 | 1 | | | | | |
| | 21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 19 | | | 1 | | | |
| | 22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 19 | | | 1 | | | |
| | 非常 時等 の対 応 | 23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 15 | 1 | | 4 | | |
| | | 24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 18 | | | 2 | | |
| | | 25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 18 | 1 | | 1 | | |
| 26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | | 17 | 2 | | 1 | | ○事故等の発生がない | |
| 満足 度 | 27 こどもは安心感をもって通所していますか。 | 17 | 3 | | | | | |
| | 28 こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 16 | 3 | 1 | | ○今は利用が稀だと話すこともありますがプログラムは楽しめているようなので、本人のペースで利用していきたいと思います。 ○音はびの出来事やお友達、先生のことを楽しそうに教えてくれます！ ○越流りはないと感じています。 ○毎回来しようにしている姿を見て安心しております。 | | |
| | 29 事業所の支援に満足していますか。 | 18 | 2 | | | | | |

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 音のはびね平岡町 | | 公表日 令和8年2月2日 | | |
|---|---|----------|---|---|---|---------------------------|
| | チェック項目 | はい | | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| | | 7 | 6 | | | |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | | | | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 7 | | | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 7 | | | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | 1 | | | |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | 1 | | 相談室はあるが専門的支援で使うと個別になれる場所がない | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。 | 7 | | | | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | | | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 1 | | | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 3 | | | |
| | 10 職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | | | 自分の受けた研修を「受けてみたい」と考える。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | | | | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、発達発達支援計画を作成しているか。 | 7 | | | | |
| | 13 発達発達支援計画を作成する際には、発達発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最新の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | | | | |
| | 14 発達発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | | | | |
| | 15 こどもの認知行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | 1 | | 標準化されたツール、スケール等を活用していくと良いと思います。 | |
| | 16 発達発達支援計画には、発達発達支援ガイドラインの「発達発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | | | | |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | 1 | | できないときもある | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | | | 月1のプログラム会議の実施 | |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる発達発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | | | | |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 5 | 2 | | 経過から帰ってくる時間の関係で職員が揃う時間がバラバラで打ち合わせができていない事に職員間で共有が必要であると感じています | |
| 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 2 | | 経過観察等のできるこどもがほとんどいない休日の時に少し詰すが、振り返りの時間は行っていない | | |
| 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | 1 | | 支援の検証、改善に必要であると感じます(共有する時間が殆どない) | | |
| 23 定期的にモニタリングを行い、発達発達支援計画の見直しを必要に応じて実施し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | | | 定期的等、保護者様とお話をする機会を設けて計画書の内容と本人の様子を話している。 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。 | 7 | | | | |
| | 25 地域の保健、医療(生活医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 5 | 2 | | 地域のもよりし物に参加したり関わる機会がもっと増えたい | |
| | 26 銀行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーシブ推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 7 | | | | |
| | 27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 7 | | | | |
| | 28 (28～30は、センターのみ回答) | | | | | |
| | 29 地域への発達発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の向上のために貢献する取組を行っているか。 | | | | | |
| | 29 資力の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | | |
| | 30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | | |
| | 31 (31は、事業所のみ回答) | | | | | |
| | 31 地域の発達発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。 | 5 | 2 | | | |
| 32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 6 | | | | |
| 33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | | | | | |
| 34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 5 | 2 | | | | |
| 保護者への説明等 | 35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | | | | |
| | 36 発達発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最新の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | | | | |
| | 37 「発達発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から発達発達支援計画の同意を得ているか。 | 7 | | | | |
| | 38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、相談が必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | | | | |
| | 39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 1 | 6 | | 懇話会を行ったりしているが交流できる場を順次保護者同士開かれる様にしたいです。(保護者同士の力がない) | |
| | 40 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | | | | |
| | 41 定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | | | | | |
| | 42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | | | | |
| | 43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | | | | |
| | 44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。 | 4 | 3 | | 地域の人との関わりがほげないので今後していきたい | |
| 非常時の対応 | 45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | | | | 訓練の実施回数を増やしたほうが良いように感じます。 |
| | 46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | | | | |
| | 47 定期的に、地震や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 7 | | | | |
| | 48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 7 | | | | |
| | 49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。 | 7 | | | | |
| | 50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等に周知しているか。 | 7 | | | | |
| | 51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。 | 7 | | | 記入の頻度が少ないので、改善が必要かと思っています。 | |
| | 52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | | | | |
| | 53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、定期的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、発達発達支援計画に記載しているか。 | 7 | | | | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------|----|-------------|
| ○事業所名 | 音のはびねす宮崎 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年12月15日 | | ～ 令和8年1月17日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 21 | (回答者数) 20 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年12月15日 | | ～ 令和8年1月17日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年12月15日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | ・プログラムにどんな年代でも入りやすい | ・毎月プログラム内容の会議をして変えている。 ・子供たちが知ってそうなものを扱っている ・支持をリズムに合わせ行うことで子供たちに入りやすい | ・もっと楽器を使う ・保護者に子供が好きな音楽を聴く ・どんなプログラムをしているのか発信する |
| 2 | ・子供に対して職員配置が多い | ・SNSで職員募集をかけている ・現場の職員も職員募集の活動をしている ・求職イベントに出る | ・常に求人活動を行う |
| 3 | ・保護者へのまめな連絡 | ・写真や動画を一緒に送ってきたことの共有している ・その子にあった内容(成長した部分、自宅できない事、保護者の要望に近いもの)を送るようにしている | ・どんなプログラムをしているのか発信する ・親子参観の頻度を上げる |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---------------------|-------------------------------------|
| 1 | ・児童発達支援の保護者になかなか会えない | ・保育園に送迎のため | ・参観日の頻度を増やす。 ・参観日以外にも参観できるようにする。 |
| 2 | ・児童発達支援が午前中しかない | ・午後から放課後等デイサービスがある為 | ・児童発達支援を増やし、児童発達支援のみにする |
| 3 | ・保育園の制約時間がある為、療育時間が短くなる | ・保育園との関わりを増やす。 | ・保育園の先生に向けての参観をする機会を作る |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | | 音のはびねす宮崎 | | | | | | 公表日 | 令和8年2月1日 | |
|----------|--------|---|---------------|-----|-------|--------|------------|-----|----------|--|
| | | 利用児童数 8名 | | | | 回収数 6名 | | | | |
| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 4 | 2 | | | | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 4 | 2 | | | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 5 | 1 | | | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 4 | 1 | | 1 | | | | |
| 適切な支援の提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 6 | | | | | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 6 | | | | | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 5 | 1 | | | | | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 6 | | | | | | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 6 | | | | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 6 | | | | | | | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 1 | 1 | | 4 | | | | |
| 保護者への説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 6 | | | | | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 6 | | | | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 2 | 1 | | 3 | | | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 5 | 1 | | | | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 4 | 2 | | | | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 5 | 1 | | | | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされているか。 | 1 | 1 | | 4 | | | | |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 5 | 1 | | | | | | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 5 | 1 | | | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 5 | | | 1 | | | | |
| 非常時等の対応 | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 5 | 1 | | | | | | |
| | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 4 | 1 | | 1 | | | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 3 | 1 | | 2 | | | | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 6 | | | | | | | |
| 満足度 | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 6 | | | | | | | |
| | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 5 | | | 1 | | | | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 5 | | | 1 | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 6 | | | | | | | |

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 置のはびねす宮崎 | | 公表日 令和2年2月2日 | | |
|--------------|---|----------|-----|--------------|---------------------------------------|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。 | 2 | | | | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。 | 2 | | | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 2 | | | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | 1 | | | |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | 1 | | | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。 | 2 | | | | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 2 | | | | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 2 | | | | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 3 | | | |
| | 10 職員の資力の向上を図るために、研修を要請する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 2 | | | | |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 2 | | | | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 2 | | | | |
| | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。 | 2 | | | | |
| | 14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 2 | | | | |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | 1 | | | |
| | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 2 | | | | |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | 1 | | | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 2 | | | | |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 2 | | | | |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | 3 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 3 | 4 | | | |
| | 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | 1 | | | |
| | 23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 2 | | | | |
| | 24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。 | 2 | | | | |
| | 25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。 | 2 | | | | |
| | 26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。 | 2 | | | | |
| | 27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | 1 | | | |
| | 28 学校との情報共有（年報計画、行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 2 | | | | |
| | 29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 6 | 1 | | | |
| | 30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 6 | 1 | | | |
| 保護者との連携 | 31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 2 | | | | |
| | 32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 2 | 5 | | | |
| | 33 「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。 | 4 | 3 | | | |
| | 34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 2 | | | | |
| | 35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4 | 3 | | | |
| 保護者の説明等 | 36 運営規程、支援プログラム、利用費負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 2 | | | | |
| | 37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 2 | | | | |
| | 38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 2 | | | | |
| | 39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 2 | | | | |
| | 40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 1 | 6 | | 父母の会が決定できる様、交流の場や機会が豊富にしたい | |
| | 41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 2 | | | | |
| | 42 定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 2 | | | | |
| | 43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 2 | | | | |
| | 44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 2 | | | | |
| | 45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を回っているか。 | 3 | 4 | | 地域の祭りや老人ホーム等のイベントを開催して交流を持てるようにしていきたい | |
| 非常時の対応 | 46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 2 | | | | |
| | 47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 2 | | | | |
| | 48 事前に、地震や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。 | 2 | | | | |
| | 49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 2 | | | | |
| | 50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | 1 | | | |
| | 51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | 1 | | | |
| | 52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。 | 2 | | | | |
| | 53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 2 | | | | |
| | 54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 2 | | | | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|---------------|
| ○事業所名 | 音のはひねす宮崎 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 12月 15日 | | ～ 令和8年 1月 17日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 8名 | (回答者数) 6名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 12月 15日 | | ～ 令和8年 1月 17日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7名 | (回答者数) 7名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 12月 14日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) と思われること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---------------------|--|--|
| 1 | ・プログラムにどんな年代でも入りやすい | <ul style="list-style-type: none"> 毎月プログラム内容の会議をして変えている。 子供たちが知ってそうなものを扱っている 支持をリズムに合わせて行うことで子供たちに入りやすい | <ul style="list-style-type: none"> もっと楽器を使う 保護者に子供が好きな音楽を聴く どんなプログラムをしているのか発信する |
| 2 | ・子供に対して職員配置が多い | <ul style="list-style-type: none"> SNSで職員募集をかけている 現場の職員も職員募集の活動をしている 求職イベントに出る | <ul style="list-style-type: none"> 常に求人活動を行う |
| 3 | ・保護者へのまめな連絡 | <ul style="list-style-type: none"> 写真や動画を一緒に送りできたことの共有している その子にあった内容(成長した部分、自宅でできない事、保護者の要望に近いもの)を送るようにしている | <ul style="list-style-type: none"> どんなプログラムをしているのか発信する 親子参観の頻度を上げる |

| | 事業所の弱み(※) と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|-------------------|---|--|
| 1 | ・学校との連携が少ない | <ul style="list-style-type: none"> こちらから会議の提案をしていない | <ul style="list-style-type: none"> 会議の提案を積極的に行う |
| 2 | ・土曜日のイベントに参加できない | <ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援で土曜日が埋まっている | <ul style="list-style-type: none"> 2号店へステップアップさせる |
| 3 | ・参観日ができていない | <ul style="list-style-type: none"> 計画していない | <ul style="list-style-type: none"> 1週間参観ウィークを作る |